

上野香織
ジャズ・オーケストラ

KAORI UENO JAZZ ORCHESTRA 2025



11
土 22

開場 14:00 開演 15:00

J:COM

北九州芸術劇場
大ホール

福岡県北九州市小倉北区室町
1-1-11 リバーウォーク北九州内
[TEL] 093-562-2655

1st STAGE

「上野香織 クインテット」

2nd STAGE

「上野香織 ジャズ・オーケストラ」
ラプソディー・イン・ブルー

/ ガーシュウィン 他

チケット

SS席	8,000円
S席	6,000円
A席	4,000円
U-22	3,000円

※U-22: 来場時に22歳以下のみ購入可

当日券 500円増

全席指定、未就学児入場不可

チケットプレイガイド

- チケットぴあ Pコード 301768
- 小倉井筒屋新館8階
- リバーウォーク北九州5F
- 松田楽器店 (Q-station)

PIANO

KAORI UENO

TRUMPET, FLUGELHORN

KUNIHITO KIKUTA

ALTO SAX

HIRONORI URA

BASS

BARRY STEPHENSON

DRUMS

DARRIAN DOUGLAS

CONDUCTOR

TAICHI SATO

CONCERT MASTER

YOKO KAKU

主催 上野香織ジャズコンサート実行委員会

TEL.080-9102-5664

協力 関原弘二(SARAE)

後援 北九州市、北九州市教育委員会、西日本新聞社
公益財団法人北九州市芸術文化振興財団

特別協賛

レクサス小倉

FEATHERS

max
maxaudio

助成 北九州文化芸術次世代育成事業 TRY ARTs 2025

PROFILE



上野 香織

ピアノ

KAORI UENO

福岡県北九州市出身。幼少の頃より、ピアノ講師である母の影響を受けピアノを始める。高校卒業後、田村勝哉氏に師事。2005年より本格的にジャズライブ活動を開始。2011年より北九州芸術劇場にて年に一度コンサートを開催。例年ソールドアウトにて好評を博す。2014年、日韓国交正常化50周年記念事業に井島正雄trioで参加、韓国ソウル市にて演奏。ファーストアルバム「LUCKY STRIKE」を全国リリース。平成26年度北九州市民文化奨励賞受賞。2015年、NHKFMセッション2015に自己のトリオで出演、渋谷NHKふれあいホールにて公開録音。2017年、3月O-1ピザ(アーティストピザ)を取得後、渡米。有名ジャズクラブMezzrow、Cleopatra's needle、Rockwood music hall等で演奏。2018年セカンドアルバム「DESTINATIONS」をニューヨーク在住の気鋭ミュージシャンとのクインテットにて録音、リリース。同年10月、レコーディングミュージシャンを全員招き日本10箇所ツアーを行う。以後例年アメリカよりミュージシャンを招き全国ツアーを行っている。2023年初のライブレコーディングによる「BLACK HEART」を発売。「ジャズ批評」2023年ジャズ・オーディオディスク大賞インストルメンタル部門にて7位にランクイン。過去共演ミュージシャンに岡崎好朗(tp)、岡淳(ts)、金子晴美(vo)、川嶋哲郎(ts)、多田誠司(as)、TOKU(vo,flh)、細川綾子(vo)、向井滋春(tb)、安カ川大樹(B)、YAS岡山(ds)等。

BARRY STEPHENSON BASS

バリー・スティーヴンソン ベース

ニューヨーク在住、アコースティック/エレクトリックベーシスト、作曲家。「今最も引く手数多のベーシストの一人」として称賛されている。

2020年にリリースしたアルバム「ジ・アイコノクラスト」はNAACP イメーჯアワードのアウトスタンディングジャズアルバム(インストルメンタル部門)に自主制作アルバムとしては唯一ノミネートされ、オフビートマガジンの2020年トップ50にも選ばれている。デビューアルバム「ベーシック・トゥールズ」や「ジ・アイコノクラスト」はほぼオリジナル曲で構成されておりASCAP、BMI、アームストロング賞などを受賞。映画音楽も手掛けており、最近では短編映画賞を受賞した「Truth .Inc」などがある。世界各国でツアー演奏、モントレー、モントルー、ニューポート等多くのジャズフェスティバルにも参加しており、またアメリカの人気テレビ番組「ザ・レイショ」でジョン・パティステのバンドにてレギュラー出演。「マーベラス・ミセス・メイゼル」「ゴッドファーザー・オブ・ハーレム」等アメリカのテレビドラマにも出演している。ニコラス・ペイトン、デイビット・サンボーン、フレディー・コール、ダイアン・ショー等著名なジャズ、ブルース、ソウルミュージシャンと共演。



DARRIAN DOUGLAS DRUMS

ダリアン・ダグラス
ドラム

ミシシッピ州、ジャクソン出身。

11歳からアカデミック・パフォーマンスセンターにてペリー・コンボ教授のもとで音楽の勉強を始める。2008年からは活動の拠点をニューオリンズに移し、ブランフォード・マルサリス、ウイントン・マルサリスの父であり、数々の著名ジャズミュージシャンを育てた教育者/ピアニストエリス・マルサリスの専属ドラマーを2012年まで務める。今までに世界中の30以上のミュージックフェスティバルで演奏し、共演者にはウイントン・マルサリス、ビクター・ゴーンズ、アイバン・メイフィールド、ゴドウィン・ルイス、ジャズミア・ホーン、ボブ・クラクショウ、エリス・マルサリスなどがある。若手音楽家の育成プログラム「セカンド・ライン・アーツ・コレクティブ」を立ち上げるなど、後進の育成にも力を入れている。2025年現在ニューヨーク在住。



KUNIHIRO KIKUTA TRUMPET FLUGELHORN

菊田 邦裕 トランペット・フリューゲルホーン

2歳からクラシックピアノを学び、管楽器奏者で調律師でもある父、叔父の影響で9歳からトランペットを始める。Roy Hargrove氏に影響を受けジャズに興味を持ち、20歳にて沢野源裕氏に師事。歌うトランペットとして世界的に評価され、youtubeの再生回数が270万回を達成。これまでに、TOKU氏、ラッ&スター桑野信義氏、Erika Matsuo氏、Art Hirahara氏、Jacob Koller氏、MONKEY MAJIK氏、近藤淳氏、深井克則氏、秩父英里氏、小曾根真氏、片倉真由子氏、江藤良人氏、曾根麻央氏、David Mathews氏、石若駿氏、宮間利之とニューハーフ他多数のミュージシャンと共演。2022年、Eri Chichibu Large Ensembleにて「丸の内COTTON CLUB」に出演。2023年、Erika Matsuo 韓国、全国ツアーに参加。横浜Jazz promenadeに出演。2024年放送ドラマ「地球の歩き方」エンディングテーマ「monkey majik『The Good Life』」に参加。自己のリーダーバンドやゲストとして東北を中心に演奏活動、数多くのCMやCDのレコーディング、学校指導、個人レッスンを行っている。



HIRONORI URA ALTO SAX

浦ヒロノリ アルトサックス

1986年生まれ。福岡県出身。13歳からサックスを始め、ボールドモントを聴きジャズに興味を持つ。パークリー音楽大学へ奨学金を得て入学。在学中、多数の学内コンサートへ選拔され出演。2011年10月には日本人として初めて、ウクライナで開催される国際ジャズフェスティバル「International Days of Jazz Festival in Vinnitsa」に出演し好評を博す。その他にアジア、ヨーロッパなど国内外での演奏や、TV番組、CM等のレコーディングにも多数参加。2020年1月には、アリーナツアーのメンバーとして、2021年には日本レコード大賞と紅白歌合戦へ、MISIAのバンドメンバーとして参加。ジャズのみならずゴスペル、ソウル、ファンクなどから得ている自由な音の表現は各方面から高い評価を得ており、現在は福岡県糸島市を拠点に全国各地で活動を展開している。2019年7月には、デビューアルバム「Grateful」をリリース。



TAICHI SATO CONDUCTOR

佐藤太一 指揮者

洗足学園音楽大学卒業。読売新人演奏会出演。神奈川フィル契約団員、N響アカデミー修了を経て、2014年より九州交響楽団首席オーボエ奏者。また国内各地のオーケストラに首席奏者として客演。九響、洗足学園大学院室内管と協奏曲を協演。指揮者としては2023年響ホール室内合奏団「0才からの音楽会」で指揮者デビュー。その後オーケストラや管楽アンサンブルなどの指導・指揮も務めている。



YOKO KAKU CONCERT MASTER

加来洋子 コンサートマスター

東京音楽大学音楽学部ヴァイオリン科卒業。北九州芸術祭、北九州国際音楽祭などに出演。ウィーン春期セミナー、イギリス湖水地方夏期講習会に参加。響ホール室内合奏団に所属し、英国公演や韓国国際音楽祭などの公演を行う。現在、同団アシスタントコンサートマスターを務めている。また室内楽やソロなどを中心に演奏活動を行う。

